

1. ICT と今後の方向性について

ICTは情報通信技術（Information and Communication Technology）の略。

厚生労働省では、2014年12月に発表した『医療・健康分野におけるICT化の今後の方向性』において、国の重要施策として以下を提言しています。

- ・ICT技術を活用することで、地域の医療機関や介護事業者による迅速かつ適切な患者・利用者情報の共有・連携を推進すること
- ・ICT技術を用いたデータの分析・活用による、国民の健康管理、施策の重点化・効率化、医療技術の発展、サービスの向上を推進すること

2025年に向けた地域包括ケアシステムの構築を図るために、医療・介護サービス利用者も含めた関係者間での適時・適切な情報共有が不可欠であり、ICTの活用は有効な手段であると考えられます。しかし、ICT機器の導入は、医療現場では一定程度進んでいるものの、介護現場ではほとんど進んでいない現状があります。

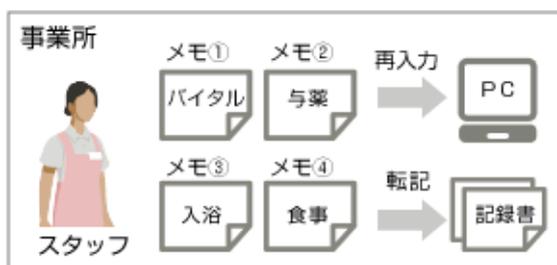


2. ICT 導入の目的・メリット

○職種間での情報連携、情報提供の迅速化 ○業務負担の軽減、作業時間の短縮による効率化など
訪問先でタブレット等を用いて訪問記録等を記録することで、事務作業を軽減できたり、リアルタイムで利用者の情報を共有化することで、サービスの質の向上にも期待できると言われています。

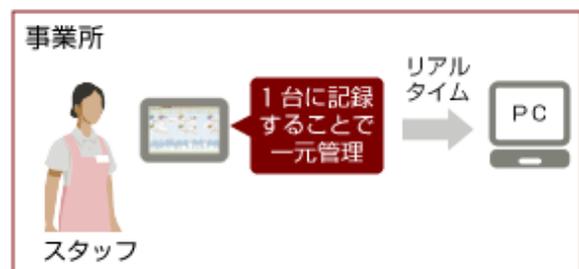
Before

メモ書きをシステムへ再入力 or 記録書へ転記



After

再入力/転記 一切必要なし



情報の一元化のイメージ図